



主な内容

1 面

- ◆6月定例会の動き
- ◆議決の概要
- ◆「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」を可決
- ◆「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を可決

2・3 面

- ◆一般質問
- ◆意見書

4・5 面

- ◆埼玉県議会議員名簿

6・7 面

- ◆委員会レポート
- ◆主要会派から

8 面

- ◆議長・副議長に聞く
- ◆フォトコンテスト作品募集中!
- ◆県議会クイズ **プレゼント付き!**
- ◆Twitter フォロワーキャンペーンを開催中

題字 埼玉県立大宮光陵高等学校 3年生 奥戸 聖斗 様

表紙写真 第17回埼玉県議会フォトコンテスト 入選「一休み」
撮影者：沖館 宏 様 撮影場所：嵐山町



議会だよりをスマホで見れます。



県議会の最新情報を発信します。



県議会マスコット「ポッポ」

6月定例会の動き

6月17日(金)から7月7日(木)までの21日間にわたり開かれました。

6月17日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。
提案された議案のうち、補正予算第1号については急を要するため、同日中に常任委員会で審査が行われ、委員長報告を経て、採決が行われました。

6月23日・24日・27日～29日 一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。
29日には知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われました。(2・3面)

6月17日・7月1日 常任委員会

補正予算・条例などの議案および請願の審査などが行われました。(6面)

7月4日・5日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。(6面)

7月7日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。



採決の様子

議決の概要

●知事提出議案

- 令和4年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)(急施)
歳入歳出予算補正額 2億7,926万1千円
食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親世帯に対する生活支援特別給付金支給に要する経費
- 令和4年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算補正額 24億7,049万円
原油価格や物価高騰の影響を受ける生活者および事業者に対する緊急支援、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進などに要する経費
- 令和4年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)(追加提出)
歳入歳出予算補正額 8億7,450万8千円
降ひょう被害を受けた農業者に対する農作物の回復や次期作等への支援および農業用生産施設の復旧への支援に要する経費
- 職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例
- 埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例
など16件を可決、そのほか1件を承認、9件に同意

●議員提出議案

- 降ひょうによる被害に対する支援を求める意見書
- 私立幼稚園教諭の処遇改善事業に係る負担割合の維持及び事業の継続を求める意見書
- 保育士の人材確保及び処遇改善等を求める意見書
など12件を可決(うち条例2件、意見書10件)



「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」を可決

性的指向または性自認に関して、社会の不合理や不平等を感じて生きている県民の方々が相当数います。そこで、性の多様性を尊重した社会づくりに関し、基本理念を定め、県、県民および事業者の責務を明らかにするとともに、性の多様性を尊重した社会づくりに関する施策の基本となる事項を定めることにより、性の多様性を尊重した社会づくりに関する取組を推進し、全ての人の人権が尊重される社会を実現するため、本条例が議員提出され、賛成多数で可決されました。(施行：令和4年7月8日)

「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を可決

「部落差別」とは、日本社会の歴史的過程で形成された身分制度に由来する人権問題です。現在も県民の間に偏見や差別意識があり、部落差別を許さない強い姿勢を示す必要があります。そこで、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、県、県民および事業者の責務を明らかにするとともに、部落差別の解消を総合的に推進するために必要な事項を定めることにより、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現するため、本条例が議員提出され、賛成多数で可決されました。(施行：令和4年7月8日)